

郡上市公共下水道事業八幡中央処理区変更計画書

公共下水道管理者 郡上市

工事着手の年月日 平成6年12月20日

工事完成の予定年月日 平成28年3月31日
平成37年3月31日

第1表-1

(分流式汚水)

予 定 処 理 区 域 調 書			
予定処理区域 の面積	(汚水) 285 288 ヘクタール	予定処理区域内 の地名	岐 阜 県 郡 上 市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)		摘 要
八幡中央処理区	285 288		内 公共下水道 254ha 内 特定環境保全公共下水道 34ha (都市計画区域外)

第1表-2

(分流式雨水)

予 定 処 理 区 域 調 書			
予定排水区域 の面積	(雨水) 46 ヘクタール	予定処理区域内 の地名	岐 阜 県 郡 上 市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)		摘 要
島谷排水区	46		

第2表-1

(分流式汚水)

吐 口 調 書						
処理区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	摘 要
八幡中央処理区	処理施設	郡上市八幡都市 環境センター 吐口	郡上市八幡町相生字大組	0.074 0.090	一級河川 長良川	低水位 188.68m

第2表-2

(分流式雨水)

吐 口 調 書						
排水区 の名称	主要な吐口 の種類	主要な吐口 の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	摘 要
島谷排水区	分流式 雨水管渠	吐口No. 1	郡上市八幡町稲成字中島	10.389	一級河川 長良川	

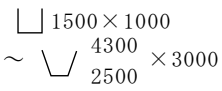
第3表-1

(分流式汚水)

管 渠 調 査				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検個所の数	摘 要
八幡中央処理区	○150～○800 ○150～○1200	7,530 7,610	— 9箇所	点検方法：マンホール 内からの管内目視若し くは管口カメラを用い る方法 点検頻度：5年に1回 以上
合 計		7,530 7,610	— 9箇所	

第3表-2

(分流式雨水)

管 渠 調 査				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検個所の数	摘 要
島谷排水区	 □1500×1000 ～ ▽4300×3000 2500	1,530	—	
合 計		1,530	—	

第4表-1

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画 放流水質 (mg/ℓ)	処理方法	処理能力		計画処理 人口 (人)	摘 要
					晴天日最大 (単位立法 メートル)	雨天日最大 (単位立法 メートル)		
郡上八幡 都市環境 センター	郡上市 八幡町 相生字 水落シ、 大組及び 大畑	約0.96	BOD: 15	好気性 ろ床法	6,430	—	9,060 8,217	計画下水量 (m ³ /日) 日平均: 5,137 4,150 日最大: 6,428 5,315 時間最大: 10,425 7,733 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 168 227
郡上 クリーン センター	郡上市 八幡町 有坂	110	ガス化熔融施設		75t/日 (37.2t/24hr×2炉) (内下水汚泥15t/日)			
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造		能 力	摘 要		
郡上八幡 都市環境 センター	流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り		流量約0.148m ³ /秒			
	主ポンプ	3台	汚水ポンプ		流量約13.2m ³ /分	3/3		
	汚水調整池	2池	鉄筋コンクリート造り		容量約442m ³	2/2		
	好気性ろ床 (一次処理部) (二次処理部)	1式	鉄筋コンクリート造り		日最大約6,430m ³ /日	一次処理4/4 二次処理12/12 設備は10/12		
	処理水槽	1池	鉄筋コンクリート造り		日最大約8,000m ³ /日	1/1		
	減菌池	1池	鉄筋コンクリート造り		日最大約6,430m ³ /日	1/1		
	放流管渠	1式	鉄筋コンクリート造り		流量約0.148m ³ /秒			
	汚泥貯留槽	2槽	鉄筋コンクリート造り		容量約165m ³	2/2		

第4表-2

処 理 施 設 調 書					
終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
郡上八幡 都市環境 センター	汚泥脱水機	2台		機械脱水	2/2
	水処理・管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	汚泥処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	脱臭設備	1式			2/2
	受電設備	1式			1/1
	自家発電設備	1式			1/1
郡上 クリーン センター	受入供給設備	1式	汚泥ホッパ	1基	
	溶融設備	1式	ガス化溶融炉	75t/日 (37.5t/24h×2炉) (内下水汚泥15t/日)	
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	事務室・会議室	
	貯留施設	1式	スラグバンカ	1基	

郡上市特定環境保全公共下水道事業変更計画書

公共下水道管理者 郡上市

工事着手の年月日 昭和63年11月15日

工事完成の予定年月日 平成29年3月31日
平成37年3月31日

第1表

(分流式汚水)

予 定 処 理 区 域 調 書			
予定処理区域 の面積	(汚水) 562 662 ヘクタール	予定処理区域内 の地名	岐 阜 県 郡 上 市 「区域は下水道計画一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位ヘクタール)		摘 要
大和中央処理区	78		
白鳥処理区	190 252		
ひるがの処理区	99 104		
高鷲処理区	61		
西洞処理区	7		
美並中央処理区	78 111		
和良処理区	49		

第2表

(分流式汚水)

吐 口 調 書						
処理区の名 称	主要な吐口 の種 類	主要な吐口 の番号 又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /sec)	放流先 の名称	摘 要
大和中央処理区	処理施設	大和中央 浄化センター 吐口	郡上市大和町徳永	0.027 0.019	徳永排水路 を經由して 一級河川 栗巣川	
白鳥処理区	処理施設	長良川浄化 センター吐口	郡上市白鳥町中津屋字下島	0.079 0.069	普通河川 下島川	
ひるがの処理区	処理施設	ひるがの浄化 センター吐口	郡上市高鷲町大字ひるがの	0.023 0.008	一級河川 御手洗川	
高鷲処理区	処理施設	高鷲浄化 センター吐口	郡上市高鷲町鮎立字油島	0.013 0.010	油島水路を 經由して 一級河川 長良川	
西洞処理区	処理施設	西洞浄化 センター吐口	郡上市高鷲町大字西洞	0.009 0.001	排水路を 經由して 一級河川 長良川	
美並中央処理区	処理施設	美並中央 クリーン センター吐口	郡上市美並町白山字新羽根	0.023 0.027	排水路を 經由して 一級河川 長良川	
和良処理区	処理施設	和良中央 浄化センター 吐口	郡上市和良町大字下洞	0.010 0.009	排水路を 經由して 一級河川 和良川	

第3表

(分流式汚水)

管 渠 調 査 書				
処理分区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検個所の数	摘 要
大和中央処理区	○100～300	1,730	— 1箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上
白鳥処理区	○150～○500 ○75～○500	6,280 12,030	— 11箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上
ひるがの処理区	○75～○450	2,450	— 2箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上
高鷺処理区	○150～○300	3,487 3,520	— 3箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上
西洞処理区	—	—	—	—
美並中央処理区	○100～○400 ○75～○400	3,340 6,250	— 7箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上
和良処理区	○150～○300	3,130 3,120	— 3箇所	点検方法：マンホール内からの管内目視若しくは管口カメラを用いる方法 点検頻度：5年に1回以上

第4表-1

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質 (mg/ℓ)	処理方法	処理能力		計画処理人口 (人)	摘 要
					晴天日最大 (単位立法メートル)	雨天日最大 (単位立法メートル)		
大和中央 浄化センター	郡上市 大和町 徳永字 落合	約0.35	BOD: 15 BOD: 15 T-N: 15 T-P: 1.5	好気性 ろ床法 高度処理 オキシ デーショ ンディッ チ+凝集 剤添加	1,128 252	—	1,910 2,205	計画下水道量 (m ³ /日) 日平均: 950 878 日最大: 1,210 1,128 時間最大: 2,290 1,618 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 200 205 T-N: 33 38 T-P: 4.4 4.0
長良川 浄化センター	郡上市 白鳥町 中津屋 字下島	約0.88	BOD: 10 15	オキシ デーショ ンディッ チ法	4,100	—	8,000 7,657	計画下水道量 (m ³ /日) 日平均: 2,852 3,217 日最大: 3,561 4,060 時間最大: 6,826 5,931 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 209
ひるがの浄化 センター	郡上市 高鷲町 ひるがの	約0.42	BOD: 20 15	回分式活 性汚泥法	1,960	—	648 460	計画下水道量 (m ³ /日) 日平均: 1,550 372 日最大: 1,960 470 時間最大: 4,599 709 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 240 290

第4表-2

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質 (mg/ℓ)	処理方法	処理能力		計画処理人口 (人)	摘 要
					晴天日最大 (単位立法メートル)	雨天日最大 (単位立法メートル)		
高鷲 浄化センター	郡上市 高鷲町 鮎立字 油島	約0.34	BOD: 20 15	回分式活性汚泥法	1,150	—	1,985 1,475	計画下水量 (m ³ /日) 日平均: 902 495 日最大: 1,148 625 時間最大: 2,195 905 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 220 200
西洞 浄化センター	郡上市 高鷲町 西洞字 ソト	約0.25	BOD: 20 15	回分式活性汚泥法	310	—	222 152	計画下水量 (m ³ /日) 日平均: 234 45 日最大: 307 58 時間最大: 754 83 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 240 200
美並中央 クリーン センター	郡上市 美並町 白山字 新羽根	約0.79	BOD: 15 T-N: 15 T-P: 1.5	高度処理 オキシ デーショ ンデイツ チ+凝集 剤添加	1,960	—	2,750 3,363	計画下水量 (m ³ /日) 日平均: 1,530 1,284 日最大: 1,958 1,622 時間最大: 3,645 2,360 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 170 193 T-N: 29 33 T-P: 3.3 4.0

第4表-3

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質 (mg/ℓ)	処理方法	処理能力		計画処理人口 (人)	摘 要
					晴天日最大 (単位立法メートル)	雨天日最大 (単位立法メートル)		
和良中央浄化センター	郡上市和良町下洞字中島	約0.42	BOD: 20 15	好気性ろ床法	870	—	1,620 1,028	計画下水量 (m ³ /日) 日平均: 653 430 日最大: 873 545 時間最大: 1,634 792 予定流入水質 (mg/ℓ) BOD: 175 193
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造		能 力		摘 要	
大和中央 浄化センター	好気性ろ床法							
	主ポンプ	3台	水中汚水ポンプ		2.1m ³ /分		3/3 内1台予備	
	調整槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		貯留時間 4時間		1/1	
	最初沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り		水面積負荷 30m ³ /m ² ・日		2/2	
	好気性ろ床槽	4槽	鉄筋コンクリート造り		ろ過速度 25m/日以下		4/4	
	処理水槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		ろ床容量2.5倍		1/1	
	逆洗排水槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		逆洗1回分+ 中間排水分		1/1	
	塩素混和池	1池	鉄筋コンクリート造り		接触時間 15分以上		1/1	
	汚泥濃縮槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		固形物量 60kg/m ² ・日		1/1	
	汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り		貯留日数 4日以上		1/1	
	汚泥脱水機	1台	機械脱水		処理能力 5m ³ /時		1/1	
管理機械棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		事務・会議・水質試験室				

第4表-4

処 理 施 設 調 書					
終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
大和中央 浄化センター	高度処理オキシデーションディッチ法+凝集剤添加				
	汚水ピット	1基	マンホール形式	所要容量 ポンプ容量2分間分以上	1/1
	オキシデーション ディッチ	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間24時間	1/1
	最終沈殿池	1池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 $8\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$ 以下	1/1
	汚泥脱水機	1台	機械脱水	処理能力 $7\text{kg} \cdot \text{Ds}/\text{h} \times 1\text{本}$	1/1
	凝集剤添加設備	1式		容量 1.0m^2 1槽	
	脱水機棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥脱水室・ホッパー・ 脱水機室・汚泥ポンプ等	
長良川 浄化センター	オキシデーション ディッチ	2池	鉄筋コンクリート造り	エアレーション時間 23.3時間	2/2
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 $8.44\text{m}^3/\text{m}^2 \cdot \text{日}$ 以下	2/2
	塩素混和池	1槽	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15.8分	1/1
	汚泥濃縮槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	有効容量 71.3m^3	1/1
	汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 4.6日	1/1
	脱水機	2台	遠心脱水機	処理能力 $5\text{m}^3/\text{時}$	
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	1池あたりの容量 1.5m^3	2/2
ひるがの浄化 センター	回分槽	4槽	鉄筋コンクリート造り	1槽あたりの容量 118m^3	4/4
	曝気装置	4基	水中機械式曝気装置	1系列当りの標準酸素量 $3.6\text{kg}/\text{時}$	4/4
	消毒設備	2池	鉄筋コンクリート造り	容量 9.8m^3	2/2
	汚泥濃縮槽	1池	鉄筋コンクリート造り	固形物量 $18.3\text{kg}/\text{m}^2 \cdot \text{日}$	1/1
	汚泥貯留槽	1池	鉄筋コンクリート造り	容量 12.3m^3	1/1
	汚泥脱水機	1基	機械脱水	必要能力 $1.44\text{m}^3/\text{時}$	2/2
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	沈砂池	1台	ドラム状スクリーン (脱水機構付)	$\phi 600 \times$ 目巾5mm	
	汚水ポンプ	2台	水中汚水ポンプ	吐出量 $0.8\text{m}^3/\text{分}$	2/2
高鷲 浄化センター	反応槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	全容量 $1,169\text{m}^3$	2/2
	反応槽曝気装置	2台	水中機械式曝気装置	1台あたり酸素供給量 $8.01\text{kgO}_2/\text{時}$	2/2
	汚泥濃縮設備	1池	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 $40\text{kg}/\text{m}^2 \cdot \text{日}$	1/1
	濃縮汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 12.7日	1/1

第4表-5

処 理 施 設 調 書					
終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
高鷲 浄化センター	汚泥脱水機設備	1台	遠心脱水機	処理能力 5m ³ /時	1/1
	管理・汚泥棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
	汚泥脱水機設備	1台	遠心脱水機	処理能力 5m ³ /時	1/1
	管理・汚泥棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
西洞 浄化センター	流量調整槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	実容量 87.5m ³	1/1
	回分槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	1槽あたりの容量 330m ³	2/2
	消毒槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	実容量 13.2m ³	1/1
	汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	実容量 42m ³	1/1
	汚水ポンプ	2台	水中汚水ポンプ	容量 0.6m ³ /分	2/2
	曝気ブロウ	2台	ルーツ式ブロウ	容量 2.3m ³ /分/台	2/2
	紫外線消毒装置	1基	水路設置型	容量 0.11kW/本	1/1
	塩素接触装置	1基	水路設置型	最大溶解量 1.33kg/日	1/1
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1
美並中央 クリーン センター	流入管渠	1式	硬質塩化ビニル管	流量約0.044m ³ /秒	
	主ポンプ	2台	汚水水中ポンプ	能力 約2.9m ³ /分	2/2 内予備1台
	オキシデーション ディッチ槽	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間24時間以上	2/2
	凝集剤添加設備	1式		容量4.0m ² 1槽	
	最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 8m ³ /m ² ・日以下	2/2
	消毒槽	1池	鉄筋コンクリート造り	時間最大 3,650m ³ /日	
	放流渠	1式	硬質塩化ビニル管	流量約0.044m ³ /秒	
	汚泥脱水機	1台	機械式脱水	固形物量 21kg-Ds/h/時間	
	前処理 汚泥ポンプ棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	スクリーンユニット、汚 泥ポンプ室	
	管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	管理室、電気室、自家発 電室	
	凝集剤設備棟	1棟	鉄骨造り		
	汚泥棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	汚泥脱水機室、換気機械 室、ホッパー室	
	自家発電設備	1台		発電容量約75kVA	
受変電設備	1式		受変電容量約200kVA		

第4表-6

処 理 施 設 調 書					
終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	数	構 造	能 力	摘 要
和良中央 浄化センター	沈砂池	1 池	鉄筋コンクリート造り	礫溜まり	
	主ポンプ	3 台	水中汚水ポンプ	1.8m ³ /分	3 / 3 内 1 台予備
	最初沈殿池	2 池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 25.2m ³ /m ² ・日	2 / 2
	好気性ろ床槽	4 槽	鉄筋コンクリート造り	実面積 35m ³	4 / 4
	曝気ブロウ	3 台	ルーツ式ブロウ	容量 1.1m ³ /分	2 / 2
	処理水槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り	ろ床容量2.5倍 (44m ³)	1 / 1
	汚泥濃縮槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 40kg/m ² ・日	1 / 1
	紫外線滅菌	1 基	浸漬型	処理水量 59m ³ /日/本	1 / 1
	汚泥貯留槽	1 槽	鉄筋コンクリート造り	貯留日数 7日	1 / 1
	脱水設備	1 台	ベルトプレス形脱水機 (バスタパッケージ)	処理能力 50kg/時	1 / 1
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造り		1 / 1

第7 その他の書類

(様式1) 施設の設置に関する方針

主要な施策 (事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関連するものを記載)	整備水準				事業の 重点化・効率化 の方針	中期目標を 達成するための 主要な事業	備考	
	指標等	現在 (H29年度末)	中期目標 (H36年度末)	長期目標				
汚水処理	下水道処理 人口普及率	59%	64%	64%	集落排水施設 等の統廃合に より管理の効 率化を図る。	統合地区管渠整 備事業 (整備予定処理 区:八幡中央・白 鳥・美並中央処理 区)		
浸水対策	—	—	—	—	—	—		
高度 処 理	処理区	高度処理の 目標とする 計画放流水質	BOD 15mg/l T-N -mg/l T-P -mg/l	BOD 15mg/l T-N -mg/l T-P -mg/l	BOD 15mg/l T-N 15mg/l T-P 1.5mg/l	処理水の質・ 量を勘案し、 効率的・効果 的に施設整備 を行う	特になし	※1: 好気性 ろ床法
	八幡中央 ^{※1}							※2: オキシデ ーション ディッチ 法
	和良 ^{※1}							※3: 回分式活 性汚泥法
	白鳥 ^{※2}							※4: 高度処理 オキシデ ーション ディッチ 法+凝集 剤添加
	高鷺 ^{※3}							
	西洞 ^{※3}							
	大和中央 ^{※1}							
	大和中央 ^{※4}							
美並中央 ^{※4}								
合流式 下水道の改善	—	—	—	—	—	—		
汚泥の 再利用	燃料又肥料と して有効利用さ れている割合	100%	100%	100%	現時点で発生 汚泥のすべて を有効利用し ているため、 今後とも継続 する。	特になし		
その他	—	—	—	—	—	—		

(様式 2) 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	直結幹線（処理場に直結している最大口径の管渠）の管渠、マンホール（ふたを含む）において10年に一度、幹線管渠の管渠、マンホール（ふたを含む）において15年に一度、枝線管渠の管渠、マンホール（ふたを含む）において30年に一度、マンホールポンプにおいて5年に一度点検を実施。また、点検で異常が発見された場合、テレビカメラ等による調査を実施。 腐食の恐れが大きい箇所の管渠、マンホール（ふたを含む）を対象に5年に一度点検を実施。また、点検で異常が発見された場合、テレビカメラ等による調査を実施。
汚水・雨水ポンプ施設 （ポンプ本体）	概ね5年に一度、分解調査を実施。
水処理施設 （機械式エアレーション装置）	1年に一度、振動測定等の設備調査を実施。 7年に一度、分解調査を実施。
汚泥処理施設 （汚泥脱水機）	1年に一度、振動測定等の設備調査を実施。 7年に一度、分解調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	主要な管路施設を対象に、緊急度ⅠまたはⅡに該当する施設を修繕・改築対象とする。
汚水・雨水ポンプ施設 （ポンプ本体）	健全度2以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。
水処理施設 （機械式エアレーション装置）	健全度2以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。
汚泥処理施設 （汚泥脱水機）	健全度2以下に該当する設備を修繕・改築対象とする。

iii) 改築事業の概要（平成29年度～平成36年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	マンホール蓋において、機能不足（非除雪対応型）、腐食や破損が確認された施設を対象に改築を実施する。
汚水・雨水ポンプ施設 （ポンプ本体）	該当なし。
水処理施設 （機械式エアレーション装置）	該当なし。
汚泥処理施設 （汚泥脱水機）	該当なし。

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し （年当たりの概ねの事業規模の試算）	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね6.3億円	概ね100年後	管路施設の目標耐用年数を75年に設定。 処理施設の土木・建築構造物の目標耐用年数を75年に設定。処理施設の機械・電気設備の目標耐用年数を23年に設定。

第6 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源

(様式3) 下水道事業に関する財政計画書

(単位：千円)

年 度	イ. 経費の部								
	建設改良費					起債元利 償還費	維持 管理費	その他	合 計
	管 渠	ポンプ場	処理場	計	うち 用地費				
過年度 平成29年度 まで	22,607,814	35,000	13,287,812	35,930,626	511,604	8,499,004	1,634,708		46,064,338
	26,125,647		14,920,164	41,045,811	511,604	16,321,284	5,751,028		63,118,123
平成30年度	67,800		10,890	78,690		996,487	328,300		1,403,477
平成31年度	116,500		64,730	181,230		999,385	333,400		1,514,015
平成32年度	80,700			80,700		1,001,491	338,400		1,420,591
平成33年度	105,400			105,400		999,383	343,400		1,448,183
平成34年度	44,100			44,100		997,381	348,500		1,389,981
平成35年度	82,800			82,800		979,665	353,500		1,415,965
平成36年度	50,800			50,800		957,472	358,600		1,366,872
合計	22,607,814	35,000	13,287,812	35,930,626	511,604	8,499,004	1,634,708		46,064,338
	26,673,747		14,995,784	41,669,531	511,604	23,252,548	8,155,128		73,077,207

(単位：千円)

年 度	ロ. 財源の部										
	建設改良費						維持管理費及び起債元利償還費				合 計
	国 費	起 債	他会計 繰入金	受益者 負担金	その他	計	下水道 使用料*	他会計 繰入金	その他	計	
過年度 平成29年度 まで	15,097,588	17,238,300	2,562,107	1,774,502	203,654	36,876,151	3,141,172	5,770,574	276,441	9,188,187	46,064,338
	15,249,970	20,528,100	2,166,314	1,474,335	1,627,092	41,045,811	5,895,551	15,248,166	928,595	22,072,312	63,118,123
平成30年度	16,700	58,060	3,050	880		78,690	415,900	905,387	3,500	1,324,787	1,403,477
平成31年度	59,430	112,750	8,170	880		181,230	422,300	906,985	3,500	1,332,785	1,514,015
平成32年度	28,250	48,420	3,150	880		80,700	428,600	907,791	3,500	1,339,891	1,420,591
平成33年度	40,600	59,530	4,390	880		105,400	435,000	904,283	3,500	1,342,783	1,448,183
平成34年度	15,550	26,350	1,320	880		44,100	441,400	900,981	3,500	1,345,881	1,389,981
平成35年度	34,900	43,760	3,260	880		82,800	447,800	881,865	3,500	1,333,165	1,415,965
平成36年度	18,900	29,360	1,660	880		50,800	454,200	858,372	3,500	1,316,072	1,366,872
合計	15,097,588	17,238,300	2,562,107	1,774,502	203,654	36,876,151	3,141,172	5,770,574	276,441	9,188,187	46,064,338
	15,464,300	20,906,330	2,191,314	1,480,495	1,627,092	41,669,531	8,940,751	21,513,830	953,095	31,407,676	73,077,207
下水道 使用料* 関連事項	接続率： 73.8%（平成29年度：初年度）→ 81.1%（平成36年度：最終年度）										
	講じる対策： 下水道への接続を促進するため、広報や市ホームページを活用した啓発活動の実施を行う。 下水道未接続の世帯に対し直接戸別訪問を行い、下水道への転換を促す。										
	有収率： 86.9%（平成29年度：初年度）→ 90.0%以上（平成36年度：最終年度）										
	講じる対策： 現時点の有収率は、比較的高い値を確保しているため、今後とも、この有収率を維持するため 定期的な施設の点検・調査を実施する。										
その他の講じる対策： 住民等利用者の負担を勘案し、逡増性の改定なども考慮して、下水道使用料金の適正化の検討に取り組む											

※財政計画書は、各処理区の総計